

※ 応援団登録していただいた方には郵便又はメールでお届けしています。

令和3年3月発行

広尾っ子応援団だより (No.36)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181



支援要望に応え、今年もスキーの指導に協力

【豊似小学校全学年体育 白銀台スキー場】

2月3日（水）、10日（水）、昨年続き、地域の方々の協力によりスキーの授業が実施されました。

1日目、ほとんどが初心者の1年生は、主に地域の方々が担当し「習熟度に応じた指導」を行いました。

協力していただいた地域の方（敬称略）

山野浩二、山本利浩、八重樫剛、八重樫幸恵、三上昌樹（広尾町職員）



（指導員の資格をもつ三上さんを中心に見事なチームティーチング。①準備体操、②スキー靴に慣れるための歩行、③片足のスキー滑走と、順を追った指導が続き、慣れてきた児童から1対1の個別指導。お蔭で、初めてスキーを履いた子どもたち全員が、この日のうちにリフトで頂上に上がりました。）

☆☆☆「放課後読書等ふれあい広場」は来年度も継続☆☆☆

令和2年度の状況 実施日数61日 利用者延べ320人（内児童299人）：2月末現在

令和3年度も「放課後読書等ふれあい広場・サテライト応援団本部」を継続することになりました。

広尾小学校の長期休業を除き、火曜日、木曜日の14時から17時（児童は14時30分から16時）までです。詳しくは「広報ひろお」のカレンダーに掲載します。

1月から青少年研修センターに場所を移しましたが、子どもたちの他にも、時々、広場を訪れる方もいます。お気軽にご活用ください。



家庭教育サポート企業等制度協定合同締結式

3月2日（火）北海道家庭教育サポート企業等制度に基づいて、協定を申請した5者（広和堂、タカダ薬局、大栄建設、フレッシュあだち・シャディあだち、須田呉服店）と北海道教育委員会との「協定合同締結式」が広尾町コミュニティセンターで行われました。

協定には、子どもが参加する地域行事や職場見学への協力、広尾っ子応援団への参加などが盛り込まれています。また、道教委からは講師派遣や情報提供、道教委ホームページでの紹介など、参加企業等への必要な支援が行われます。



左から齊藤一也氏、高坂泰知氏、長 知弘氏、村上由佳十勝教育局長、須田恵美子氏、足立清洋氏



平成18年の制度創設以来、初めてリモートで行われた協定調印の様子

広尾小の重点教育目標等を承認【第4回学校運営協議会】

3月8日（月）広尾小の学校運営協議会が開かれました。協議会では学校から示された令和3年度の学校運営の基本方針（教育課程、学校経営計画）を承認しました。基本方針の柱となる「重点教育目標」と「育成を目指す資質・能力」は次のとおりです。

○ 重点教育目標

よく考えて行動する子どもを育てる

○ 育成を目指す資質・能力

- 言葉には、物事や経験したこと、考えたり思ったりしたことを表し、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づく力を身に付ける。（知識及び技能）
- 自分の考えとそれを支える理由を明確にして表現する力や相手の考えと比較しながら自分の考えを広げたり、まとめる力を身に付ける。（思考力、判断力、表現力等）
- 自分のよさに気づき、周りとは協力しながら行動しようとする姿勢を身に付ける。（学びに向かう力、人間性等）

【解説】「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」は、授業の目標や評価の観点として、全国で共通に使われています。